

## 議 事 要 旨

内容	第 10 回福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会
実施日時	2025 年 12 月 23 日（火） 14:30-16:30
場所	福知山市厚生会館 中会場
参加者	委員 夜久豊基、菊田学美、足立直敬、谷垣修身、谷垣均、中村豪文、淵上紫乃、前田竹司、 牧野新子 アドバイザー 生田創、渡辺弘 事務局（福知山市） 山本、森田、井上、塩見、岩木、梅原
使用資料	・第 10 回福知山市新文化ホール基本計画再検討委員会資料 ・新文化ホール基本計画再検討の方向性に係る市民意見募集 意見一覧

### ◆主な検討結果

#### （１）市民意見募集の結果について

- ・ 機能は段床固定席、規模については 1000 席を基準とし、場所については優先順位を付けず、候補地周辺を広くゾーンとして捉えることとした。

#### （２）新文化ホールの機能について

- ・ 当初の基本計画で定められた機能についての確認し、改定箇所を確認した。

#### （３）再検討結果のまとめ

- ・ 本日の内容は、事務局が再検討結果報告書にまとめて次回共有する。

## 議論の要旨

### 1. 開会

- ・（委員長）新文化ホールの機能は段床固定席をメインとすること、規模については 800 席から 1000 席と幅を持たせて 1000 席規模を基準とすること、場所は第 1 候補の駅北ゾーン、第 2 候補を御霊公園・厚生会館ゾーンとすることを確認した。これらは全 9 回の議論によって導き出された内容であり、この内容に対して市民意見募集も行った。第 8 回再検討委員会の後に厚生会館隣接事業者より厚生会館に隣接する事業所の閉鎖が発表されたが、隣接地については今後どう運用されるか不明確であることから、その発表が行われる前の時点で再検討委員会により協議された内容に対して市民意見募集をする形となった。本日は市民意見をふまえて、再検討委員会の最終決定をしていきたい。

### 2. 協議事項

#### （1）市民意見募集の結果について

—市民意見募集の結果についての説明—

- ・（委員長）機能は段床固定席でよいか。
- ・【全員賛同】
- ・（委員長）では、規模は 800 席～1000 席でよいか。
- ・（委員 C）800 席～1000 席規模は大きいと考える。プロがメインで利用するならば 1000 席規模かもしれないが、市民利用があることを加味すると、例えば 700 席～1000 席規模が良いのでは。
- ・（委員長）市民意見として、「1000 席規模に賛成」と回答した人は 1000 席でよいと考えているわけだが、「1000 席規模に反対・どちらでもない」とした人は、1000 席以上か 1000 席未満のどちらが良いと考えているのか、事務局の分析結果はあるか。
- ・（事務局）自由記述のため分類が非常に難しいが、前後の文脈や選択肢を判断しながら回答者の意図をできるだけ汲み取って分類したところ、1000 席程度を求める方が 5 割強、1000 席未満を求める方が 1～2 割、1000 席より多くを求める方も 1～2 割であった。
- ・（委員長）規模の 1000 席程度という基準に賛成か反対か、挙手を願う。
- ・【賛成多数】
- ・（委員 J）1000 席規模ということは、1000 席は必ず確保されるという認識でよいか。
- ・（委員長）1000 席を必ず確保しつつ、一部が可動席などとなると認識しているが、間違いないか。
- ・（事務局）必ず 1000 席を確保し、そこから用途に合わせて座席数を調整できるよう工夫する。
- ・（委員 E）市民の意見には「座席数を調整できるようにしてほしい」「大きすぎると市民が利用できない」などがあつた。1 階席、2 階席を合わせて 1000 席にし、小規模利用をしたい日は 2 階席を使用しないといった工夫や、客席前方の座席を取り外せるようにするといった工夫などで、それらの要望にも柔軟に対応できる。そんなホールを作るというイメージだったが、間違いないか。
- ・（事務局）これまで再検討委員会で話し合われた内容と相違ないと考える。
- ・（委員 G）これまであちこちでコンサートなどを見てきたが、たとえ無料であっても 1000 席は埋まらない。埋まるとしても年に 1、2 回あるかないかである。みんなが欲しい規模と、みんなが実際に使いやすい規模は異なる。
- ・（委員長）その内容についても再検討委員会内でこれまで繰り返し議論してきた。その内容に対応するためにも、席数を柔軟に変更できる工夫を行うこととしている。

- ・ (委員長) 最後に場所について検討する。
- ・ (委員 C) 資料 P13 に「うち 9 人がグンゼ所有地のみ活用」とあるが、この 9 人は厚生会館を残しつつ、グンゼ所有地に新たなホールを建てて欲しいと言っているのか。
- ・ (事務局) この 9 人はグンゼの所有地に建ててほしいと回答した方々である。厚生会館を残したいとは言っていない。
- ・ (委員 J) グンゼは市民意見募集の対象の土地となっていない。御霊公園・厚生会館ゾーンとは切り離すべきではないか。
- ・ (事務局) 再検討委員会の議論は具体的な建設地を話し合うといった形ではなく、建設の可能性があるゾーンについて話し合う形で進んできた。この経過を加味して、それぞれの敷地をピンポイントに提案するのではなく、その敷地を中心としたゾーンとして捉えた資料を作成し、市民意見募集を行った。この資料については再検討委員会の皆さんに事前に送付し、承諾いただいている。
- ・ (委員長) 委員 J は御霊公園・厚生会館ゾーンにグンゼは含まれないとして、切り分けて意見数をカウントすべきではと提案しているが、事務局はどう考えるか。
- ・ (事務局) 現在は御霊公園・厚生会館ゾーンにはグンゼ所有地のみ活用希望する方が 9 人、駅北ゾーンには JR 管理局所有地のみ活用希望する方が 3 人含まれている。委員 J が提案するとおりにこれらを省くとしても、御霊公園・厚生会館ゾーンは 76 人、駅北ゾーンは 69 人となり、順位自体に変化は無い。
- ・ (委員 J) 自分でも自由記述を分類してみて、確かに分類は難しいと感じたが、それでも御霊公園・厚生会館ゾーンが最も多く、次いで駅北ゾーンが多いというのは誘導的に感じる。7 月に実際のホールを視察に行ったが、その報告が委員会で行われた際、自分たちが視察したホールとは全く異なる可動席の説明動画を見せられて、可動席は手間がかかるという意見に誘導されたと感じる。
- ・ (委員長) 決して誘導的ではなかったと考える。
- ・ (委員 F) 御霊公園・厚生会館ゾーンでは、グンゼの土地を求める意見も多くある。市民意見の反映にグンゼとの交渉は必要不可欠かと思う。
- ・ (委員 J) 自分たちは事務局の作成した資料を基に議論している。資料に誤りがあると、自分たちも市民に叱責される。
- ・ (委員 E) グンゼの撤退については大きく報道されたため、厚生会館とグンゼを一体開発すべきと言う意見が多く出たのかと思う。しかし、以前の委員会でコーナンが建設候補地に挙がった際に他の委員より「営業中の店舗を候補地に挙げるのは失礼だ」と指摘があったとおり、グンゼを候補地に含むことについても、撤退前なので失礼なことであると考える。さて、市民意見を見ると駐車場を求める声が多いが、駅北ゾーンは駐車場が少ない。一方で、御霊公園・厚生会館ゾーンはグンゼの件もあり、駐車場利用もできる広い土地があるように見える。そうなると、御霊公園・厚生会館ゾーンが支持され、そこへ建設する計画が進むと予想される。しかし、市民はコーナンのある土地が将来的に更地で返還されることを知らない可能性が高いので、コーナンのある土地が更地返還された際にそんなに広い土地が駅北にあるなら駅北でも良かった、と市民からの不満が出るかもしれない。かつての自分も更地返還されないと思い込んでいた。
- ・ (委員長) 話は戻るが、グンゼとの協議の件などについて事務局から何か報告はあるか。
- ・ (事務局) グンゼが撤退するとの報道では、グンゼが取材に対して「行政からの話があれば協力する」といった旨の回答をされていたようだが、行政側に直接そのようなお話をされているわけではない。ただ、当初の基本計画では厚生会館が建設候補地となったため、隣接地にも影響が出ると考え、定期的にグンゼへの進捗報告を行っていた。

- ・ (委員長) グンゼの撤退は第 8 回再検討委員会の直後に発表された。第 9 回の再検討委員会ではこの報道を受けてどうすべきかとの話し合いになり、第 1 回から 8 回まで重ねてきた議論をベースに市民意見を伺い、その結果を受けて最終的な方向性を決定しようとなった。そのため、先ほど委員 E が発言したように、再度コーナンを含めて議論をしてもいいのではないかという意見もあると思う。再検討委員に再度意見を聞きたい。
- ・ (委員 J) コーナンは将来的に更地で市へ返還される。商業施設と文化施設を合築されるというアイデアもあるし、駅周辺は民間の投資意欲が高いエリアと言える。定期借地の契約満了を理由に事業者が撤退したエリアと、業績不振を理由に事業者が撤退したエリアであれば、前者の方が民間にとって参入しやすいエリアであると考えます。
- ・ (委員長) 委員 J、委員 E から、再度コーナンを駅北エリアに含めてはどうかとの意見があった。他の委員はどう考えるか。
- ・ (委員 J) 御霊公園・厚生会館ゾーンには公園が含まれる。しかし、公園を潰して施設を建設するとなると市民が反発する恐れがあることから、民間がなかなか手を出せないと聞いたことがある。
- ・ (事務局) 委員 J の先ほどの発言には誤りがあるため、訂正したい。先ほど、「視察した施設の可動席とは異なる可動席の動画を見せられた」とあった。これは第 7 回再検討委員会にて可動席、固定席など座席の種類を説明した際の事かと考える。可動席にはスタッキングチェア、移動観覧席、ワゴン席の 3 種類がある。しかし、ワゴン席だけは府内に視察できる例が無かったため、ワゴン席については動画で視聴いただく事とし、スタッキングチェア、移動観覧席については視察先で実際にご覧いただいた。動画の視聴は委員の皆さんにより良い議論をしていただく目的で行ったことである。これをあたかも意見を誘導するための工作であるかのように言うことはやめてほしい。今回の資料についても、御霊公園・厚生会館ゾーンにグンゼは含まないとして市民意見を聴取したいとの委員会の意向を受けて作成してきたものである。
- ・ (委員 I) 御霊公園・厚生会館ゾーンを支持する市民のうち、グンゼ所有地と厚生会館の一体活用を望む市民、グンゼ所有地のみ活用を望む市民は 36 人もいる。駅北周辺についても同様に広くゾーンとして見られていると思う。今後場所の選定を進めるにあたり、それぞれの社名を出さずにゾーン・エリアとして広く考え、それぞれの事業所がある土地についてはプラスアルファで使えるかもしれない土地、程度に留めておくのが良いかと思う。
- ・ (委員 D) 御霊公園・厚生会館ゾーンの表記が修正される前の資料も後の資料も事務局から事前に共有されていた。自分はこの表記方法で問題ないと思ったため連絡しなかったが、意見がある方はそこで伝えるべきであったのではないかと。具体的にどの土地に建設するかというより、その土地を選ぶ過程で出てきた「駐車場が必要」「何席が必要」などの条件の方が重要である。実際にどのようなホールが建設できるかは設計してみないと分からないため、再検討委員会では必ず守ってほしい条件を定めて、その条件に合う場所を議会か行政か市長が選ぶ、といったような形をとるのが良いのではと考える。
- ・ (委員長) 場所について各委員の意見が欲しい。
- ・ (委員 J) 委員 I の言うとおりに、グンゼ、コーナンは具体的に表記しなくていいと思う。
- ・ (委員 G) グンゼ、コーナンの今後の動き次第で大きく変わる。
- ・ (委員 F) 既にアンケートで答えが出ている。グンゼが考慮されたうえで御霊公園・厚生会館ゾーンへの賛成が多いので、グンゼとの話し合いがうまくいくように願う。駅北は場所が狭く、既存のイベントもある。
- ・ (委員 B) 具体的な敷地ではなく、ゾーンとして広く考えた方が実現性があると思う。
- ・ (委員 C) 街並み、にぎわいの事を考えて建設地を選ぶべきである。第 1 候補、第 2 候補と順位付けをするのはあまり良くないと思う。
- ・ (委員 D) どちらも営業中であることを考えると再検討委員会でこれ以上具体的な候補地を挙げることは困難で

あると考える。そのため、広くゾーンを選定するのが良いかと思う。

- ・（委員 E）御霊公園・厚生会館ゾーンの場合はグンゼとの交渉を行うことになるが、グンゼは営利企業なので土地を安く売るとは考えられない。おそらく数十億かかると思われるが、それが建設費に上乗せされるとなれば御霊公園・厚生会館ゾーンでの建設は難しくなると思う。そうなった時に備えて、ゾーンの案を二つ持っておくのが良いと思う。
- ・（委員 I）本日の資料 P13 を見たときに、市民の方は二つのゾーンをほぼ同等に扱っているとの印象を受けた。そこで、二つを同等にしてはどうかと考える。個人的には、駅北ゾーンには図書館や駅など様々な目的の人が集まるので、そこへホールを建設すれば更なる人の流れを生み出せるのではないかと考える。
- ・（委員長）みなさんの意見を総合すると「候補地を広くゾーンとして提案する」「ゾーンに順位を付けない」「ゾーンに含まれる民間の所有地や定期借地は具体的な名称を挙げない」となる。前回アドバイザーにいただいた意見で、広域の回遊性を重視して御霊公園・厚生会館ゾーンにするか、コンパクトシティをめざして駅北ゾーンにするかといったものがあつた。先ほど委員 I が言ったように、駅北ゾーンであれば賑わいのある既存の公共施設と機能を分担できるが、御霊公園・厚生会館ゾーンに建設する場合は機能分担が難しいので、ホール単体で人が集う仕組みを考える必要がある。さて、これらの意見について賛否を問いたい。

#### 【全員賛同】

### （2）新文化ホールの機能について

#### —新文化ホールの機能についての説明—

- ・（委員長）では、次に機能について意見を交換する。
- ・（委員 D）搬出入口は 4tトラックを想定するとなっているが、1000 席のホールにグレードアップするに伴ってトラックのサイズの想定を上げる必要はないか。また、親子連れや車いすの方など多様な方が利用できるホールといった意見が委員会内でも多く出ているので、それらの位置づけをもう少し高くしてもいいのではないか。
- ・（事務局）客席数は当初の基本計画より増えたが、舞台の大きさは当初からプロもアマチュアも利用できる大きさのものを想定していたので、4tトラックのままで問題ないと思う。
- ・（委員 G）先ほど 1000 席とあつたが、固定席で 1000 席か。そんなにたくさんの観客が来るのかと疑問である。
- ・（委員長）多機能な施設を検討する必要がある。ちなみに、子ども向けの施設に関しては、現在福知山市が児童科学館の活用に向けたサウンディング型市場調査を行っていることから、そちらでカバーされる可能性もある。
- ・（委員 C）客席数を少なくする機能はあるか。
- ・（事務局）委員 E が先ほど発言していたように、利用団体が必要とする客席数に変更できる仕組みを設計段階で取り入れる必要があると考えている。
- ・（委員長）最後にアドバイザーから助言いただきたい。
- ・（アドバイザー-M）本日の資料 P22 の公民連携手法とは具体的にどのようなものを想定しているか。
- ・（事務局）当初の基本計画では従来形式として分離発注を想定していたが、改定版の基本計画では従来形式に限定せず、公民連携手法も含めて様々な発注方式を検討すると表記する予定である。
- ・（アドバイザー-M）どちらのエリアを選択するかで計画に様々な影響が出ると思う。みなさんが議論を重ねたホール内の機能の他にも、パブリックスペースを設けることが大切である。広く市民の方が利用できる日常利用を想定した設計をすべきである。
- ・（アドバイザー-K）どこに建設するかなどはなかなか決めきれないことであるだろうが、いつかは決定しなくてはならないことである。議論の中に出てきたことでいくつか気になることがある。まずは駐車台数である。駐車台数と客席数に

は決まりが無いため、1000 席だから何台必要ということが言えない。次に座席数についてである。700 席、800 席と違って、1000 席というのは非常に微妙な席数である。そのため、1000 席をきちんと運用できる力がある人、大勢のスタッフを雇用しなくてはならない。そうすると人件費が増える。会場が大きくなるほど音響設備を多く入れる必要がある。そのあたりも覚悟しなくてはならない。また、いろいろな交流機能が欲しいのは分かるが、規模には制約があるので取捨選択しなくてはならない。規模の中でホールとその他機能がどのような割合になるのが理想かを考えるべきである。

### (3) 再検討結果のまとめ

- ・ (委員長) 本日の議論の結果は事務局が再検討結果報告書にまとめて、次回共有する。

以上